

奈良線 山城青谷駅橋上化の概要について

2020年6月16日

西日本旅客鉄道株式会社

奈良線の山城青谷駅橋上化については、昨年城陽市と当社の間で協定を締結し、2022年度末の開業に向けて、鋭意準備を進めているところです。この度、駅設備等の概要が決まりましたのでお知らせ致します。なお、工事については、今年度冬頃着手します。

1 計画概要

【駅概要】

橋上駅舎（鉄骨造：249㎡）、ホーム 相対式2面 幅員2.7～5.5m

柵内外兼用エレベーター 2基（各ホーム1基）、簡易自動改札 2通路、券売機 1台

【自由通路】（参考）

自由通路 有効幅員5.0m、総延長100m（線路上空通路は延長28m）、公衆トイレ1箇所（多機能トイレ含む）

2 駅舎の特徴

「山城青谷の歴史と未来をつなぎ、自然溢れる地域拠点としての駅」をコンセプトに、城陽市の自然豊かな青谷地域の玄関となる駅舎を計画しました。中でも鎌倉時代から地域に親しまれてきた青谷梅林や、明治の紀行文である青谷絶賞でも紹介された青谷地域の山並みといった地域の名所を随所で感じられるような駅舎デザインとしています。



自由通路外観イメージ（東側）



自由通路外観イメージ（西側）

3 開業予定

2022年度末開業予定